

たかそう 連携だより

2023年発行
第196号
5月号

新年度のご挨拶 2
地域医療支援・連携センター長 佐藤 正通

地域連携症例検討会
整形外科 3
整形外科部長 大澤 敏久

病棟紹介
ICU 4
ICU看護師長 藤井 由美恵

皮膚・排泄ケア認定看護師の活動 5
皮膚・排泄ケア認定看護師 細谷 晃子

薬剤部だより 6
栄養だより 7
看護相談外来のご紹介 8
受診予約についてのご案内 9
医師紹介コーナー 10
地域医療連携登録医のご紹介 11
セカンドオピニオンのご案内 12~13
外来診療担当表 14~15
院長閑話 16



撮影：患者サポートセンター 後藤 雅美

●地域医療支援病院 ●がん診療連携拠点病院

独立行政法人国立病院機構
高崎総合医療センター



〒370-0829 群馬県高崎市高松町36
代表 (TEL) 027-322-5901
URL <https://takasaki.hosp.go.jp/>
地域医療支援・連携センター(医療機関専用ダイヤル)
(TEL) 027-322-5835
(FAX) 027-322-5925

【理念】

患者さんから信頼される病院を目指します

【基本方針】

- 常に患者さん本位の医療を心がけます
- 研鑽に励み、安全で良質な医療を提供します
- 医療連携を積極的に推進し、地域医療に貢献します
- 良き医療従事者の育成に努めます
- 臨床研究を推進します
- 健全な病院経営を行います

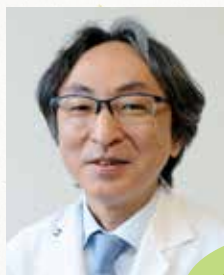
【看護の理念】

人間の尊厳を大切にし、専門的な知識、技術を持ち、心のこもった看護を提供します

【患者さんの権利を守ります】

- 誰でも良質で安全な医療を受ける権利があります
- 患者さんの人格や価値観が尊重され、医療提供者との相互協力のもとで医療を受ける権利があります
- 病気、治療等について、十分な説明を受ける権利があります
- 他の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります
- 病気等について十分な説明を受けたうえで、自分の意志で検査や治療方法を選択したり、他の医療機関を選択する権利があります
- 医療情報に関する個人のプライバシーが守られる権利があります

新年度のご挨拶



地域医療支援・連携センター長

佐藤 正通

皆様方におかれましては、日々のご診療を通じて、地域連携診療提供体制への御理解を頂き、また高崎総合医療センターを救急・急性期医療機関としてご利用頂き、誠にありがとうございます。お陰様をもちまして、2022年の地域連携に纏わる診療実績（紹介数、逆紹介数、入院在院日数等）は過去最高のものでありました。これら実績は当センターのみではなく、地域にお住まいの医療を受給される患者や家族の理解に基づき、地域医療機関を運営される全医療人によって構築されたものであり、群馬県西部地区における医療連携の深化を示すパラメーターであります。2023年度におかれましても、引き続き御指導御鞭撻の程、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

現在に至るまでの3年間を振り返りますと、多くの苦難と忍耐に満ちた日々が思い出されます。このことは私や高崎総合医療センター職員に限らず、少なからず地域医療者、そして地域住民の皆様方と共有できるものであります。永い月日ではございましたが、2023年3月末におきましては、コロナ禍終息に向けた社会の動きが至るところで見受けられるようになりました。コロナ禍におきましても高崎総合医療センターは一般診療を抑制することなく、また診療を絶やすことなく経過し現在に至ったことは、地域住民の皆様や地域医療者の尽力によるものと感謝しております。そしてこれから2023年度におきましては、新型コロナウイルス感染症診療は、重症化率の低下や感染予防についての社会的緩和などにより大きく縮小されるものと予測されます。感染法上、2類相当から5類への変遷が、日本国社会、そして医療現場に何をもたらすのかは、現時点にあっては甚だ未知数ではございますが、過去3年間コロナ禍により抑制されていた人々の活動が、2023年度には大きな社会的価値、人間を幸せにする価値として花開くことを願って止みません。高崎総合医療センターは、このような時勢にあって、医療、看護等の社会保障の一端を、地域医療連携といった無形の資源を最大限に活用し皆様方と共に担って参ります。2023年度がこの国の医療における大きな転換点となっていく雰囲気、桜の開花と共に人間社会にとっての一つの希望として、おぼろげながら感じております。過去を己が糧とし、2023年、未来を見据えて前向きに新時代を切り拓いて参りましょう。これからもどうぞ宜しくお願い致します。

最近の整形外科領域疾患の 治療について

地域連携症例検討会



整形外科部長
大澤 敏久

2023年3月6日に担当科である整形外科が「最近の整形外科領域疾患の治療について」というテーマにて症例を供覧しながら発表させていただきました。



一ノ瀬剛先生より、粉碎骨折を伴う大腿骨転子部骨折についての一工夫加えた手術法について講演させていただきました。高齢社会が進んで、昨今急増している大腿骨転子部骨折であります。一昔前より骨折部が粉碎している症例がおおくなっておりまして。高年齢かつ骨粗鬆症のためかと思いますが、ちょっとした転倒等で骨折部が粉碎になってしまうことも多いようです。従来の髓内釘だけでは粉碎骨折部分の固定性が不十分であり、その後の癒合やADLに大きく影響してしまいます。先生が独自で考え出した小皮切で巻けるケーブルを併用した手術を供覧させていただきました。

遠藤史隆先生には、これも最近受傷する方が多い橈骨遠位端骨折の手術例を供覧していただき、早期手術で改善している報告をさせていただきました。



繰り返しになりますが、超高齢化社会が今後ますます進行して、今回の様な骨折もますます多くなると思います。大腿骨頸部骨折は麻酔がかけられれば、なるべく早期離床を念頭におき手術を行い、頭骨遠位端骨折等は神経ブロックで全身麻酔が困難な患者さん等も手術を行っていきたいと考えています。



加地卓万先生が、先生が得意とするエコー下神経ブロックで除痛をはかり、骨折の整復・脱臼の整復等を外来にて容易に行えることを教示いただきました。外来でも役立つ全身の神経ブロックポイントを教示させていただきました。



病棟紹介

ICU

ICU 看護師長 藤井 由美恵



「ICU」
(Intensive Care Unit:
集中治療室)
をご紹介します

当院には、ICU (Intensive Care Unit: 集中治療室) が8床あります。主に手術後や重症な状態にある患者さんが過ごされる治療の場として、年間約480名の患者さんが入室されています。手術室はICUのすぐ隣にあり、扉ひとつでつながっているため、手術後は速やかに病室に移動することができます。また、ICUには常に専任の医師がおり、2対1の看護体制で24時間、手厚い医療・看護を行う環境が整えられています。



私たちが
ICUの認定看護師、
専門看護師
です!



ICUというと、「どんなところなんだろう」「とても怖い」という印象を持たれる方もいるかもしれません。様々な医療機器や生命維持装置などに囲まれた特殊な環境ではありますが、24時間通してすぐ近くに看護師がいます。患者さんの小さな変化や訴えに気づき、ケアをすることができます。そして医師、看護師はもちろん、薬剤師、栄養士、リハビリチーム、臨床工学技士など多職種が協働し、患者さんの治療や回復のための手助けができるようチームで医療を行っています。

ICUには集中ケア認定看護師2名、急性・重症患者家族専門看護師1名がいます。病気や治療に関する専門的知識だけでなく、患者さんの状態に合わせた自立に向けたリハビリテーションや、不安や負担を抱える患者さんとそのご家族にとって、安心して治療に臨める場となるよう、そして患者さんにご家族が笑顔でICUを退室し、一般病棟での治療につなげられるようチームで関わっています。



ICUの
チームメンバーです!
医師、看護師、薬剤師、
栄養士、リハビリスタッフ、
臨床工学技士など

患者さんの
生活の質を改善する
お手伝いをします



皮膚・排泄ケア 認定看護師の活動 について

皮膚・排泄ケア認定看護師 細谷 晃子

皮膚・排泄ケア認定看護師は、褥瘡などの創傷ケア、ストーマ（人工肛門・人工膀胱）を造設した方へのケア、尿失禁や便失禁などがある方への排泄ケアを専門にしている看護師です。今回は、ストーマケアについて紹介します。

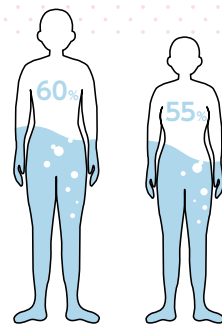


ストーマを造設した方は年々増加し、日本国内では22～25万人といわれています。当院では、手術前から退院後まで多職種で協働し継続支援を行っています。手術前は、患者さんがストーマとはどのようなものか理解し手術に臨めるように、実際のストーマ装具を見ながら説明をしています。手術後は、初めてのことばかりで戸惑う患者さんも多いですが、早期にストーマケアを習得できるよう患者さんに合わせた指導を行っています。退院後はストーマ外来で継続支援を行っており、10年以上通院している方も多くいらっしゃいます。自己管理ができるようになれば終了でよいと考えがちですが、時間の経過とともに様々な問題が生じてくる場合があります。例えば、体形の変化や、視力低下、他の病気などによって、自己管理が難しくなってしまふことがあります。このような場合は管理方法の変更や社会資源の紹介などを行っています。また、生活の中で様々な不安や悩みなどが生じることもあるため、話を聴きながらアドバイスをしています。

今回は、ストーマケアについて紹介しましたが、皮膚・排泄ケア認定看護師は、スキンケアや排泄ケアといった生活の質に大きく関わる分野です。今後も支援を必要とする患者さんが、少しでも生活の質が改善し継続できるよう活動していきたいと思ひます。

薬剤部だより

薬剤部 小村 誠



「脱水症」や
「熱中症」に
ご注意！

5月に入ると暖かい日も増えてきますが、そこで気を付けなければいけないのは「脱水症」や「熱中症」です。脱水症や熱中症と聞くと夏の暑い日に起こすイメージが多いと思いますが、5月に入ると急に暑くなる日があり、まだ体が暑さに慣れていないため脱水症や熱中症を発症する危険性が高くなります。

脱水症や熱中症を予防するには涼しい服装に着替えたり、日傘や帽子で直射日光から体を守ったりいくつかの方策がありますが、こまめな水分補給も非常に大切です。

脱水症になってしまったら、水分と電解質（いわゆるミネラル。特に塩分）を速やかに補うことが大切になってきます。水分補給に用いる飲料として、「経口補水液」という飲料をテレビCMやドラッグストア等で見聞きしたことがあると思います。経口補水液は、水分と電解質と糖분을バランスよく含み、体内への速やかな吸収に優れており、「飲む輸液」と言われることもあります。

経口補水液はスポーツドリンクよりも電解質濃度が高く、糖濃度は低い組成になっており、通常の水分補給であれば一般的なスポーツドリンクでも十分ですが、発熱や激しい発汗などを伴う脱水症には経口補水液の方が適しています。経口補水液には液体タイプ以外にゼリータイプも発売されていますが、水分補給の効果に差はありませんので、お好みに合わせて選択すると良いでしょう。



経口補水液の飲み方に決まりはありません。成人であれば500～1000mLを目安に無理のない速さで飲むと良いでしょう。ただし、嘔吐しているときは一度にたくさん飲むと嘔吐を繰り返してしまう場合があるので、少しずつ時間をあけて飲むようにすると良いでしょう。

これから夏に向けて暑い日が続くようになります。脱水症にならないようにこまめに水分補給しながら暑い夏を乗り切りましょう！

栄養だより

今年の八十八夜は5月2日です。

八十八夜とは、立春の日から数えて八十八日目に当たり、農家ではこのころになると霜の心配がなくなるので、農作業を始める目安となりました。この頃は茶摘みの最盛期でもあり、栄養価が高く、この日に摘んだお茶を一番茶（その年の最初に生育した新芽を摘み取って作ったお茶）として飲むと、一年を無病息災でいられると伝えられています。

新茶・ 一番茶

新茶と一番茶は基本的に同じお茶のことで、呼び方が異なるだけです。新茶の特徴は、若葉のさわやかで、すがすがしい香りと、旨み、甘みの成分であるアミノ酸が多い傾向にあります。

緑茶の 成分

緑茶には人間の健康に良い影響を与えるとされている成分が多く含まれており、多様な効果・効能があります。

● カテキン（渋味成分）

ポリフェノールの一種で、血中コレステロールの低下、体脂肪低下作用などがあります。

● カフェイン（渋味成分）

覚醒作用、利尿作用などがあります。

● テアニン（うま味成分）

アミノ酸の一種で、リラックス作用などがあります。



お茶を飲んで
リラックスした日々を
過ごしましょう

淹れ方

① お湯は沸騰させてから湯冷まし

お湯は一度しっかり沸騰させてから、それぞれのお茶に合った温度に。季節や器の温度にもよりますが、器を移すたびに温度が5～10℃下がります。

② 「廻し注ぎ」がカギ

茶碗に注ぐときは「廻し注ぎ」と呼ばれる注ぎ方をします。1→2→3の順に少しずつ注いだら、3→2→1の順に注ぎ、これを繰り返すことで量や濃さを均等に注ぎ分けることができます。

③ 最後の一滴まで絞り切り！

二煎目もおいしく淹れるためには最後の一滴まで注ぎ切り、急須にお湯を残さないことが重要です。注ぎ切ったあとは、茶葉が蒸れないよう急須の蓋をずらしておくと◎。

看護相談外来

のご紹介

がん分野の認定看護師・
専門看護師が、
病と共に生きる患者さんと
ご家族をサポートする
看護師主体の外来です

どんなことを相談できるの？

患者さんご家族が
自分らしく生きていくために

「今とこれから」

について
一緒に考えます



不安な気持ちを
聴いてほしい

療養生活での
困りごと

治療の選択

お子さんや家族
とのかかわり方

仕事のこと

治療による
外見の変化

看護相談外来

日時：毎週木曜日 13:00～16:00
(1回30分～1時間程度)

対象

当院に通院中の患者さんとそのご家族
入院中も対応します

費用

相談は無料
(内容によって別途料金がかかる場合があります)

場所

別館二階 通院治療センター内(右図参照)

予約方法

担当の医師に「看護相談外来の予約をしてほしい」と伝えるか、お近くの看護師にお声かけください

連絡先

国立病院機構 高崎総合医療センター
看護相談外来担当
TEL: 027-322-5901



2F

本館2階コンビニの横を直進
別館に入り突き当たりを左折し
道なりに進んだ一番奥

受診予約

について

当院は医療機関からの
紹介事前予約制を
とらせていただいております。

④ 以下を患者さんへお渡しください

- 事前予約申込書FAX原本
- 診療情報提供書
- その他の資料



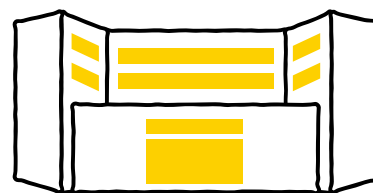
紹介元医療機関



患者さん

⑤ 以下を持参して受診

- 保険証
- 事前予約申込書FAX原本
- 診療情報提供書
- その他の資料



高崎総合医療センター
地域医療支援・
連携センター事務室

① 受診

② 事前予約申込書をFAX

③ 電話による予約日時連絡（15分以内）

⑥ 来院報告書（第一報）を郵送

⑦ 病状報告（返信、診療情報提供書）を郵送

- ① 患者さんが貴院受診
 - ② 貴院より当センター連携事務室に「事前予約申込書」のFAXをお願いいたします
（地域医療支援・連携センター事務室 FAX:027-322-5925）
 - ③ 迅速に予約日時を決め、電話にてご連絡いたします
 - ④ 「事前予約申込書FAX原本」「診療情報提供書」「その他の資料等」を患者さんにお渡し願います
 - ⑤ 患者さんが当センター受診（1番窓口にて受付・案内）
 - ⑥ 連携事務より患者さん来院日に「来院報告書」を郵送させていただきます
 - ⑦ 後日、診療内容のご返事をさせていただきます
- 心臓血管内科は平日の8:30～11:00までに紹介状を持参のうえ来院していただきますと当日受診が可能です。
 - 消化器内科で早めな対応が必要な患者さんは平日11:00～15:00までに紹介状を持参のうえ来院していただければ対応させていただきます。
 - 予約での紹介が可能な患者さんには事前予約をご利用ください。

※救急患者さんは直接お電話で **地域医療支援・連携センター TEL:027-322-5835** にご相談ください。

受付時間

[月曜～金曜] 午前8時30分～午後6時30分
[土 曜] 午前8時30分～午後5時15分

連絡先

高崎総合医療センター内
地域医療支援・連携センター
直通TEL 027-322-5835
直通FAX 027-322-5925

FAXは24時間受け付けております。お返事は翌営業日になります。



歯科口腔外科

しばの まさやす

柴野 正康

高崎総合医療センター歯科口腔外科は2010年に開設し、今年で13年目を迎えます。主に口腔外科疾患の治療と、入院患者さんの嚥下機能評価および口腔ケアを行っており、私は口腔外科疾患の診療に携わっております。総合病院における歯科ですので、医科の先生方や看護師さん、病院スタッフの方々のサポートを得ながら、特に隣接領域である耳鼻咽喉科、形成外科、眼科の先生からのご支援、指導を頂き、口腔腫瘍や外傷等の疾患に対応しております。また、当科では開設以来、顎変形症に対する手術に特に力を入れて参りました。2017年よりクリニカルパスを改訂したことで、より効果的な疼痛管理、感染予防、咬合管理が行えるようになり、日本顎変形症学会実態調査における顎変形症手術患者の全国的な平均入院期間に比べ、3日間短縮することが可能となりました。今後も、ご紹介頂いております矯正医の先生方からの要望に応えられますよう、手術を受ける患者様の負担軽減のため一層研鑽を積んで参ります。

超高齢社会となり、歯科医院を受診される患者様には、様々な疾患に対し多剤服用されている方、抗がん剤治療中の方が多くなっており、抜歯、インプラント埋入等の観血処置には十分な配慮が必要となります。当科で対応できることがありましたら、是非ご紹介頂きますようよろしくお願い致します。

日々進歩する医療に対し、適切な医療水準を維持するため歯科医師には研鑽義務があります。今後も安心・安全な歯科医療を提供できるよう努力して参りますので、何卒よろしくお願い致します。



小児科

さとう こういちろう

佐藤 幸一郎

2019年4月より当院に勤務しております、小児科の佐藤幸一郎と申します。2013年から3年間の勤務に引き続き、今回は5年目、合計8年目の勤務を迎えました。

私は小児一般診療に加えて、アトピー性皮膚炎や食物アレルギー、気管支喘息、花粉症を含むアレルギー性鼻・結膜炎などの呼吸器・アレルギー領域の疾患を専門に診察させていただいております。

当院では食物アレルギーの患者さんへの食物経口負荷試験(実際にアレルギーの原因となっている食物を摂取するテスト)を日帰り入院で実施しています。また、アトピー性皮膚炎の患者さんへの軟膏塗布やスキンケアの方法、気管支喘息の患者さんへの薬剤の管理や日常生活での注意点の指導も行っていますし、アレルギー性鼻炎患者さんに対する舌下免疫療法も実施しています。

アレルギー領域の疾患はいずれも日常生活の妨げになり、長期的な管理を要する上に、患者さんが多い疾患です。小児科専門医・アレルギー専門医(小児科領域)としての知識や経験を生かしてお子さんたちが健やかな日常を過ごせるよう、地域の先生方のご協力を得ながら西毛地域の小児科診療に尽力したいと思っております。

地域医療連携登録医のご紹介

地域医療連携登録医の皆さまとパートナーシップを組んで診療に取り組んでいます。

松島小児科医院

院長あいさつ

地元高崎市にて、長年、診療を続けてまいりました。その間、数多くの様々な患者様と出会い、深い信頼関係を構築してきました。地域に根付いた安心した子供医療をモットーに、今後も邁進してまいります。



松島小児科医院
院長
松島 宏



診療科・病院案内

小児科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前(8:30~12:00)	●	●	●	●	●	●	△
午後(14:30~18:00)	●	●	●	△	●	△	△

※午前の受付は11:45まで。夕方の受付は17:30までです。

群馬県高崎市貝沢町736-3

TEL:027-361-5823

【完全予約制】

インターネット予約 <http://matsushima-shounika.net/>

松島小児科は、子どもに関するあらゆる悩みに対応できる「よろず相談所」として、また、地域のかかりつけ医として取り組んでいます。

榛東わかばクリニック

院長あいさつ

私は常に地元の方々の健康管理や慢性疾患の治療の役に立ち、温かい心で患者様重視の医療を提供していきたいと思っています。

地域に密着した医院であり続けたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。



榛東わかばクリニック
院長
中沢 克彦



診療科・病院案内

内科・循環器内科・麻酔科 リハビリテーション科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前(9:00~12:30)	●	●	●	●	●	●	△
午後(14:30~17:30)	●	●	△	●	●	△	△

●:水曜・土曜日は午前8:30から受付を開始しています。

群馬県北群馬郡榛東村山子田1369-1

TEL:0279-20-5531

当院の強みは、アットホーム的な雰囲気の中で診療を行うことです。体調において例えば、だるい・熱がある・手がしびれてる気がする・関節が痛い・頭が痛い・階段を昇ると息切れがする等、「内科でいいのかな?」と、もしわからない場合お気軽にご相談ください。

なお、訪問診療なども患者さんの要望に応じて実施しております。

セカンドオピニオンのご案内

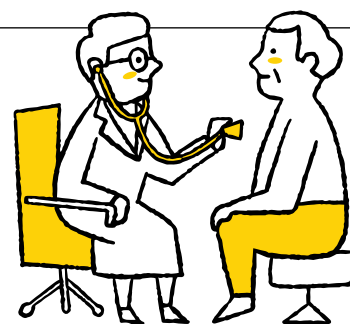
当センターではセカンドオピニオン外来を実施しております。
概要につきましては以下のとおりです。

01 対象患者さん

- 現在当センター以外の医療機関で診療を受けている患者さん、ご家族
- 現在の主治医（他医療機関）の診断及び治療方針について、当センター医師に参考意見を求め、患者さんご本人が自らの疾患をより理解し適切な診療を選択する等の為に、セカンドオピニオン外来の活用を望む方
- 主治医（他医療機関）からセカンドオピニオンを目的とした紹介状及びフィルム等の検査資料を当院に提供可能な患者さん、ご家族であることを要します（主治医にセカンドオピニオンを受けるための紹介状等をお願いすれば対応してもらえます）
- 相談者をご家族の場合は、原則として患者さんの同意を得た場合といたします

02 実施診療科 **【各科の専門医が対応いたします】**

内科、精神科、呼吸器内科、消化器内科、心臓血管内科、
小児科、外科、乳腺・内分泌外科、心臓血管外科、
脳神経外科、呼吸器外科、産婦人科、泌尿器科、
眼科、放射線診断科、放射線治療科、歯科口腔外科



予約方法

完全予約制 代表電話：027-322-5901

※代表にお電話を頂き、『セカンドオピニオン係』とお申し付け下さい

【受付時間】 月曜～金曜 8時30分～17時の間

※精神科の受付時間は **月曜～金曜 8時30分～12時迄** となります

※事前にご予約電話を受け付け、担当専門医と日程調整を行った後に折り返し
当センターより連絡させていただきます

外来時間

セカンドオピニオン外来時間（診療科によって曜日は異なります）

月曜～金曜 13時30分から15時30分の間で調整

費用

30分以内 5,500円（消費税込み）

30分以上 11,000円（消費税込み）

セカンドオピニオンとは

セカンドオピニオンとは現在の自分の病状や治療方針について他の医師の意見を求めることをいいます。

医療が進歩してさまざまな治療法が生まれています。

その結果、医師によって病気に対する考え方が違うことや、病院によって医療技術や診療の質に差があることも考えられます。治療法について具体的な比較ができ、より適した治療法を患者さん自身が選択することができます。

当センターでは、よりよい治療法を患者さん自身が選択できるように、セカンドオピニオンを積極的に勧めしております。

セカンドオピニオン 外来担当表

科名	医師名	専門	曜日
内科	佐藤 正通	内科全般、血液内科	火
精神科	井田 逸朗	がんのメンタルヘルス	木
呼吸器内科	中川 純一	呼吸器全般	火、金
消化器内科	長沼 篤	消化器病一般、肝臓病	随時
	増田 智之	食道、胃、大腸	
心臓血管内科	広井 知歳	狭心症・心筋梗塞の治療（カテーテル治療）	金
	太田 昌樹	不整脈一般	水
	福田 延昭	心不全、弁膜症	木
小児科	五十嵐 恒雄	小児科全般・未熟児・新生児	水
外科	坂元 一郎	消化器外科全般	水
	家田 敬輔	上部消化管	水
	平井 圭太郎	肝臓、胆のう、膵臓	水
	宮前 洋平	下部消化管	水
乳腺・内分泌外科	鯉淵 幸生	乳がん全般・甲状腺外科	随時
	高他 大輔	乳がん全般・甲状腺外科	随時
心臓血管外科	小谷野 哲也	心臓血管の外科治療	火、木、金
呼吸器外科	伊部 崇史	肺がん、縦郭腫瘍、呼吸器外科全般	木
	高坂 貴行	肺がん、縦郭腫瘍、呼吸器外科全般	火
脳神経外科	田中 志岳	脳腫瘍	月
	笹口 修男	水頭症、脳外科一般	木
	佐藤 晃之	血管障害	金
産婦人科	伊藤 郁朗	婦人科腫瘍	月、火、金
泌尿器科	柴田 康博	泌尿器科全般	火
眼科	土屋 明	眼科全般（眼腫瘍を除く）	水、木
放射線診断科	根岸 幾	画像診断CT・MR中心	木
	佐藤 洋一	画像診断CT・MR中心	火
放射線治療科	永島 潤	悪性疾患の放射線治療	
歯科口腔外科	稲川 元明	口腔顔面痛	火、水、木、金
	柴野 正康	口腔外科全般、顎変形症、インプラント	月、火、木、金

外来診療担当表

当センターは、地域医療支援病院として運営しております。
かかりつけ医の先生からの紹介状をご持参願います。

	月	火	水	木	金
総合診療科・内科	佐藤 正通 飯塚 堯	佐藤 正通 植原 大介	(真下 大和) 予約のみ	佐藤 正通 飯塚 堯 (合田 史) 午後：予約専門外来	佐藤 正通 植原 大介 予約のみ
栄養食事指導外来		佐藤 正通 午後			
内分泌代謝内科	渋沢 信行	倉林 理紗 (植原 正也)	植原 良太 倉林 理紗	渋沢 信行 午後	渋沢 信行 植原 良太
神経内科	椎名 葵 (池田 雅美) 午前	平柳 公利	平柳 公利 初診のみ (唐澤 将紀)	柴田 真	清水 一輝
呼吸器内科	中川 純一 (星野 裕紀) 午前	細野 達也 内田 恵	田口 浩平 小林 頂	中川 純一 竹村 仁男	細野 達也 内田 恵
消化器内科	長沼 篤 午前	星野 崇 午前	柿崎 暁 午前	長沼 篤 午前	星野 崇 午前
	安岡 秀敏 午前	鈴木 悠平 午前	安岡 秀敏 午前	増田 智之 午前	佐野 希望 午前
	上原 早苗 午前	佐野 希望 午前	増田 智之 午前	鈴木 悠平 午前	田村 優樹 午前
	相原 幸祐 午前	相原 幸祐 午前	鍋木 琢也 午前	古市 望 午前	(小林 倫太郎) 午前
	(石原 弘) 午後		(石原 弘) 午後		(廣田 堇) 午前
(廣田 堇) 午後		(小林 倫太郎) 午後			
上部内視鏡検査	星野 / 増田 / 田村	安岡 / 増田 / 古市	上原 / 佐野 / 相原	上原 / 佐野 / 相原	長沼 / 鈴木 / 鍋木
心臓血管内科 (循環器)	太田 昌樹 午前：通常 / 午後：不整脈外来	石橋 洋平	広井 知歳	福田 延昭 午前	太田 昌樹 第2、4週午後 / ペースメーカー外来
	村田 智行 午前	高橋 伸弥 午前	太田 昌樹 午後：不整脈外来	高橋 洋右 第1、3週午前	小林 紘生 午前：通常 / 午後：不整脈外来
新患外来(午前)	瀨田 博貴 第1、3週午前		羽鳥 直樹 午前	千吉 良彩花 第2、4週午前	柴田 悟 午前
心不全予防外来	高橋 伸弥	柴田 悟 第2、4週午後	村田 智行	羽鳥 直樹	石橋 洋平
精神科	井田 逸朗 山崎 雄高 午前	井田 逸朗 山崎 雄高 午前	井田 逸朗 山崎 雄高 午前	井田 逸朗 山崎 雄高 午前	井田 逸朗 山崎 雄高 午前
	五十嵐 恒雄 午前	五十嵐 恒雄 午後	五十嵐 恒雄 午前	倉田 加奈子 午前	五十嵐 恒雄 午後
小児科	内田 亨 (荒川 篤康) 午前	倉田 加奈子 午前	倉田 加奈子 午後	植原 実紅 午後	佐藤 幸一郎 午前
	(田口 未奈) 午後	斎藤 淑人 午後第1、2、3、5週のみ (神尾 綾乃) 第4週午後	佐藤 幸一郎 午後	東野 允奎 午後	小笠原 聡 午後第1、2、4、5週のみ (浅見 雄司) 第3週午後のみ
	(前原 孝) 午後		(滝沢 琢己) 第2、4週午後	(西澤 拓哉) 午後	
小児外科		(西明・高澤慎也) 第4週午後	(西明・高澤慎也) 第1、3週午後		
外科 (消化器)	坂元 一郎 午前：通常 / 午後：肝臓専門外来	小川 哲史 午前	家田 敬輔 午前：通常 / 午後：上部消化器専門外来	平井 圭太郎 午前：通常 / 午後：肝臓専門外来	宮前 洋平 午前：通常 / 午後：下部消化器専門外来
	齊藤 秀幸 午前：通常 / 午後：食道専門外来	星野 万里江 午前 小川 哲史 午後	生方 泰成	井田 晃頌 午前	齊藤 裕紀乃 午前
栄養サポート外来					
禁煙外来					
ストーマ外来			第2、4週午後・予約	予約	
泌尿器科	井上 雅晴 栗原 聰太 午前	栗原 聰太 柴田 康博 午前	交代制	柴田 康博 午前：通常 / 午後：不妊外来 井上 雅晴 午前	交代制

01 外来診療受付時間

8:30~11:00迄

(予約の場合は最終予約時間まで)

※再来受付機は8:00から受付しています

- 紹介状をお持ちの方、紹介事前予約の方は、1番：紹介状をお持ちの方・地域医療連携窓口で受け付けております。
- 当センター受診にはかかりつけ医の先生からの紹介状をご持参ください。紹介状をお持ちでない方は、診察をお受けできない場合や、長時間お待ちいただく場合がございます。
- 受診時にはお薬手帳、薬剤情報提供書または飲んでのお薬をご持参ください。

02 休診日

土、日、祝日、年末年始

- 学会等により、休診または医師が交替する場合があります。院内掲示をご覧ください。

地域医療支援・
連携センターから
地域の先生へお願い

当センターへの紹介の際は、
地域医療支援・連携センターを通した
事前予約にご協力下さい。

令和5年5月1日現在

	月	火	水	木	金
疼痛緩和内科 看護相談外来	田中俊行	田中俊行	田中俊行	田中俊行	田中俊行
乳腺・内分泌外科	鯉淵幸生 午前 徳田尚子 午前 成澤瑛理子 午前	鯉淵幸生 午前 高他大輔 午前 徳田尚子 午前 成澤瑛理子 午前	鯉淵幸生 午前 高他大輔 午前 徳田尚子 午前	(荻野美里) 第2,4週午後 (田邊恵子) 第1,3,5週午後 交代制 午後・予約	高他大輔 午前 徳田尚子 午前 成澤瑛理子 第1,3,5週午前 第2,4週午前
心臓血管外科	<手術日>	交代制 午後	<手術日>	小谷野哲也 午前 羽鳥恭平 午後	茂原淳 午前
呼吸器外科	<手術日>	伊部崇史 高坂貴行	<手術日>	伊部崇史 高坂貴行	<手術日>
整形外科	荒毅 信太晃祐 遠藤史隆	大澤敏久 大島淳文 都築俊平	荒毅 信太晃祐 一ノ瀬剛 都築俊平	新井厚 午後 遠藤史隆 <手術日>	大澤敏久 一ノ瀬剛 大島淳文
形成外科	交代制 <手術日>	中村英玄 午後 角田彩	中村英玄 午前 角田彩 午後	<手術日> 角田彩 午前	中村英玄 午前 <手術日> 午後
脳神経外科	田中志岳 (井上千鶴) 午前	齋藤貴寛 <手術日>	<手術日> 上原顕仁 午前	笹口修男 <手術日>	佐藤晃之 午前 上原顕仁 午前 荒木健 午前
皮膚科	伊藤郁朗 黒住未央 東杏莉	青木宏 黒住未央 周藤周	<産後健診>	(金井眞理) 午前 (塚田蓉子) 午前	伊藤郁朗 青木宏 東杏莉
遺伝性腫瘍外来				伊藤郁朗	
眼科	土屋明 紹介・予約	土屋明	土屋明	土屋明	土屋明
眼形成眼窩外科	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎
耳鼻いんこう科	高橋克昌 岡宮智史	岡宮智史	<手術日>	高橋克昌	高橋克昌 岡宮智史 午前
放射線治療科	永島潤 (弓崎晃)	永島潤 (弓崎晃)	永島潤 午前 大高建 (弓崎晃)	永島潤 (弓崎晃)	永島潤 (弓崎晃) 富澤建斗 午前
歯科口腔外科	柴野正康 紹介・予約	<手術日>	田中斉 紹介・予約	柴野正康 紹介・予約 田中斉 紹介・予約	<手術日>
新患外来	田中斉 紹介・予約		柴野正康 紹介・予約	交代制	
歯科(歯科麻酔) 摂食嚥下・口腔ケア外来	稲川元明 第1,3,5週のみ、紹介・予約 渡邊真央 紹介・予約 倉持真理子 紹介・予約	稲川元明 紹介・予約 倉持真理子 紹介・予約 (荒井亮・辻野啓一郎) 第2,4週のみ、紹介・予約	稲川元明 紹介・予約 渡邊真央 紹介・予約 倉持真理子 紹介・予約	稲川元明 紹介・予約 渡邊真央 紹介・予約	稲川元明 紹介・予約 倉持真理子 紹介・予約

()の医師は非常勤です。

03 予約について

当院は「医療機関からの紹介患者事前予約制」をとらせていただいております。

医療機関様にはお手数をおかけしますが、予約の際には「事前予約申込書」に必要事項を記載し、地域医療支援・連携センターへFAXにてご依頼ください。折り返しお電話で予約日時の連絡をさせていただきます。

※分娩希望についてはこの限りではありません。

※心臓血管内科は平日8:30~11:00までに紹介状を持参のうえ来院していただきますと当日受診が可能です。

※消化器内科で早めの対応が必要な患者さんは平日11:00~15:00までに紹介状を持参のうえ来院していただければ対応させていただきます。(予定での紹介が可能な患者さんは地域医療支援・連携センターを通しての予約をお願いします。)

04 連絡先

高崎総合医療センター内 地域医療支援・連携センター

医療機関専用ダイヤル: 027-322-5835 《平日 8:30~18:30 / 土曜日 8:30~17:15》

FAX: 027-322-5925 《FAXは24時間受け付けています。お返事は翌営業日になります》

院長閑話

vol.24

信州上田、別所温泉への「小さな旅」

院長 小川 哲史



今年の春は例年になく暖かく、全国的に桜も数週間早く咲きました。そんな暖かな3月末の平日に一日休みをとって、長野の上田市に遊びに行ってきました。2016年のNHK大河ドラマ「真田丸」を見てから、真田一族、特に堺雅人が演じた信繁のファンになり、いつか行ってみたいと思っていました。真田氏ゆかりの地は、沼田城や岩櫃城など群馬県内にもたくさんありますが、上田城は徳川の大军を2度にわたって撃退したことで真田ファンの聖地と言えるところです。

上田駅は新幹線で高崎から30分、さらに上田城までは徒歩で15分ほど、高崎から一時間足らずで着きました。上田城跡公園の桜は8分咲きで、上田城千本桜まつりは4月1日から開催予定とのことでしたが、地元の方々がのんびり桜見物していてゆったり穏やかな時間が流れていました。現在の上田城は石垣以外の本丸の櫓などの建物はほとんど再建されたものですが、ここで徳川軍を2度も撃退したと思うと感慨深いものがあり、桜の花と相まって「兵どもが夢の跡」の思いになります。高崎城址の桜の美しさも素晴らしいですし、城と桜の組み合わせはどちらも華やかさと儚さがあるためか、最も日本的な春の風景だとしみじみ思います。

上田城跡公園でのんびりした後、お昼前には上田駅から別所線に30分乗り別所温泉に行きました。別所線沿線は田畑が広がり、ポツンとした無人駅も多く、日本の原風景のようで懐かしさを感じる路線でした。別所温泉は開湯から千年余り、信州最古の温泉地とされ、周辺には、鎌倉時代に建てられた寺社仏閣の北向観音堂や安楽寺の国宝八角三重塔など、たくさんの文化財があり「信州の鎌倉」とも言われています。散策は坂が多いので少々大変ですが、初老の私でもゆっくり歩いて回れます。名所の中でも鎌倉時代の禅宗様建築の安楽寺三重塔に特に感銘を受けました。京都や奈良の大伽藍の塔とは違い、こじんまりとし端正で清楚な感じの塔で、その緻密で美しい木組みには驚くばかりです。八角ということもあるのか安定感もあり、かつ優雅な品格や粋な感じもします。

さて、名所・旧跡を回った後はもちろん温泉です。別所温泉駅近くの日帰り温泉に入り、遅めの昼食とビール、露天風呂を満喫し、ちょっと大げさですが「生きてる幸せ」を実感しました。

帰りは日暮れまで時間があつたので、しなの鉄道の小諸駅で途中下車し懐古園にも寄りました。残念ながら桜にはまだ早く、時間が遅かったため藤村記念館も閉館していました。軽井沢からの新幹線で地ビール片手にスマホを見ながら「なかなかいい旅だった」などとひとり悦んでいました。ところが高崎駅で降りてから「ポケットのスマホがない!」スマホケースにはカード類もたくさんに入っていますが後の祭り、一気に酔いがさめました…。大慌てで駅員さんに聞いたところ、乗っていた電車が東京駅に着くまでは確認できない、それから連絡しようとのこと。酔って調子に乗りすぎた反省と不注意さに嫌気がさしながら待つ時間の長かったこと。そして時間が過ぎてもスマホの届けはなく、いよいよ諦めて紛失手続きをしようと帰宅し、これが最後との思いで東京駅の忘れ物扱い所に電話しました。なんと!スマホ、ありました!届けてくれた方、本当にありがとうございました。感謝・感激です。なくしたスマホとカードがそのまま帰ってくるという、世界に類を見ない日本の誠実で善良な社会、本当に素晴らしい!その夜のうちにスマホを受け取りに東京駅まで往復しました。うれしくて新幹線の中で性懲りもなくまた飲みながら…

信州上田、別所温泉での名所めぐりや癒しの温泉、自分自身の迂闊な性格に対する後悔と反省、そして最後に日本人の清廉さに感動するなど様々な経験をした、春の長〜い一日でした。

(4月24日)

Information

行事などのお知らせ

第36回地域連携症例検討会 心臓血管内科・心臓血管外科領域 疾患の診断と治療の連携

日時：2023年6月15日(休)
18:45~20:00

演者：高崎総合医療センター

心臓血管内科部長 福田 延昭
心臓血管外科部長 小谷野 哲也

対象：医療従事者

高崎総合医療センターよりWEB配信

※申し込み必要

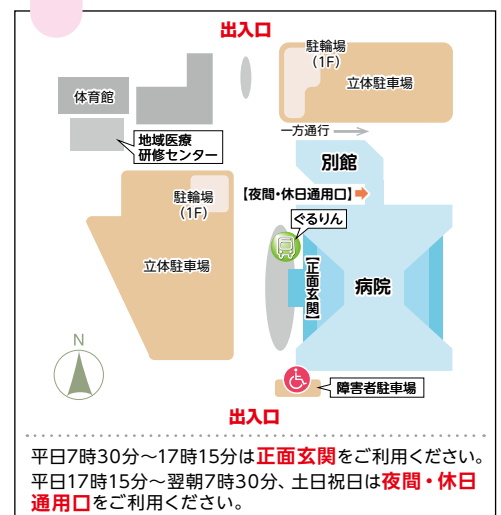
訂正のお知らせとお詫び

3月号(第194号)P3の表「1.リンパ増殖性疾患 悪性リンパ腫」について記載内容に誤りがございました。

誤) IL-2R抗体 → 正) sIL-2R

ここにお詫びして訂正させていただきます。

高崎総合医療センター案内図



平日7時30分~17時15分は正面玄関をご利用ください。
平日17時15分~翌朝7時30分、土日祝日は夜間・休日
通用口をご利用ください。

登録医の先生方からのご寄稿・ご意見をお待ちしております。
地域医療支援・連携センターまでご連絡をお願い致します。

電話 **027-322-5835** (医療機関専用ダイヤル)

ホームページより本冊子のバックナンバーをご覧頂けます

<https://takasaki.hosp.go.jp/kouhoubackno.html>

検索



高崎総合医療センター
公式 Facebook



独立行政法人国立病院機構

高崎総合医療センター